東名遺跡の整備と活用を考えるワークショップ便り

2022 年 12 月

東名遺跡が多くの人々に愛され守られる方法について市民参加により検討

佐賀市では、日本最古の湿地性貝塚である東名遺跡（約 8,000 年前、縄文時代早期）について、将来に渡って保存・活用していくため、現在、史跡整備の基本設計を進めています。隣接地には、ガイダンス施設を設置する予定で、佐賀市内の文化財の拠点である埋蔵文化財センターと組み合わせた複合施設とする計画です。今後この設計に基づいて、史跡や周辺の整備等、様々な取り組みを進めていく予定です。

そこで、東名遺跡や複合施設での新たな楽しみやイベントなど、より有効な活用方法について考える市民参加型のワークショップを開催しました。第１回「東名遺跡のことを知ろう」は本年 10 月 23 日に、第２回「史跡地と複合施設の活用方法について考えよう」は本年 11 月 19 日に開催しました。

第２回ワークショップは、午前の部（小学生の親子）と午後の部（一般・団体）の２部に分け、東名遺跡に隣接する東名縄文館（佐賀市金立町千布/巨勢川調整池内）において開催しました。東名遺跡の近隣にお住まいの方々をはじめ、日頃より東名遺跡周辺でスポーツや自然観察等様々なご活動をされている方々、そして市の公式ホームページやチラシ配布等によりご興味を持たれた方々等、総勢 36 名の皆さんにお集まり頂きました。

その結果、東名遺跡の貴重な歴史資源と、遺跡を取り囲む巨勢川調整池ならではの自然環境を活かした、縄文生活体験や自然体験等様々な活動を、市民や観光客等多くの人々に向け展開していくアイディアが出されました。

第１回　2022 年 10 月 23 日（日）

【午前の部】10:00～12:00　【午後の部】13:30～16:00

「東名遺跡のことを知ろう」

東名遺跡の概要と、東名遺跡や複合施設の整備概要について学び、東名遺跡の将来について話し合いました。

第２回　2022 年 11 月 19 日（土）

【午前の部】10:00～12:00　【午後の部】13:30～16:00

「東名遺跡と複合施設の活用を考えよう」

第１回ワークショップをふまえ、東名遺跡の活用方法や、市民の取り組みについて考えました。

今後の佐賀市の取り組みに反映

第2回ワークショップ【午前の部】の様子

「東名遺跡と複合施設の活用を考えよう」

＜午前の部 プログラム＞

○縄文編みかごづくり体験

《縄文人の技や感性を体感》

○史跡地と複合施設の活用方法について考える

《お絵描きをしながら、活用のアイディアを話し合う》

■お集まり頂いた参加者

佐賀市内の小学生と保護者を主体とし、小学生８名、保護者７名、計 15 名が参加されました。

■第１回ワークショップの振り返りと編みかごづくり体験について

第１回ワークショップに欠席された参加者もいたため、複合施設の整備方針、東名遺跡出土品の展示方針、史跡地の活用方針について、振り返りを行いました。また、今後の活用や運営の際に重要な体験プログラム（縄文人の技や感性を体験）となる、クラフトテープを材料とした編みかごづくりに挑戦していただきました。

■東名遺跡の望ましい活用について

編みかごづくり体験のあと、５つのテーブルに分かれ、ガイダンス施設、体験交流広場、史跡地をテーマにお絵描きをしながら、東名遺跡の活用方法と今後の取り組みについて、話し合いました。東名遺跡とガイダンス施設の望ましい活用（理想的な姿・利用方法等）について、下記のようなキーワードに整理されるようなアイディアが考え出されました。

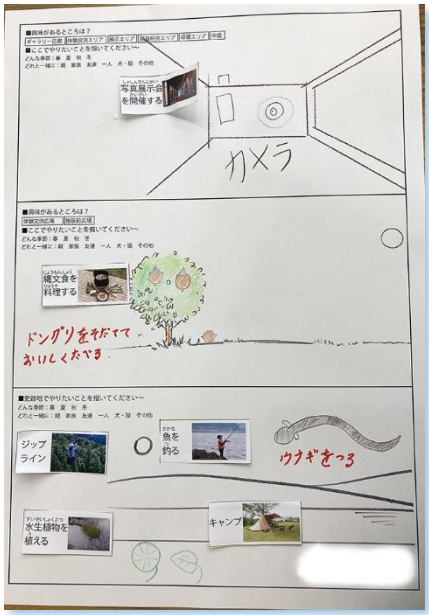
参加者の皆さんは、東名遺跡について、巨勢川調整池の緑豊かな環境と広いスペースを活かした、植物や野鳥の自然観察、水辺遊び等の自然体験やジップライン、花火大会等のイベントができるような場所を望まれているとともに、家族やペットと遊ぶ等、くつろげる場所となることを願っていることがわかりました。

また、ガイダンス施設について、東名遺跡という歴史資源を活かし、子どもたちに縄文時代の遺物を触れる、縄文時代のものづくり・生活体験等の体験学習ができる、遊び・学び・体験が一体となった縄文時代が体感できる場所を望まれていることがわかりました。また、カフェテリア等のくつろげる場所も望まれていることがわかりました。

＜東名遺跡と複合施設の望ましい活用について＞

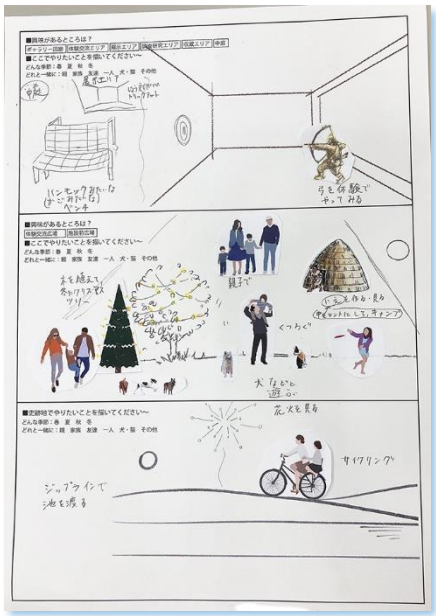
テーマ種別	望ましい活用について（キーワード）
【縄文体験】	・土器づくり　・カゴづくり　・縄文料理　・弓矢体験　・発掘体験 ・縄文キャンプ（グランピング等）　・火起こし体験 ・竪穴住居（イエ）をつくる　・ドングリを育てて食べる
【展示】	・石器、骨角器等の遺物　・縄文の風景　・縄文人の姿 ・縄文のトリックアート　・復元建物
【自然と親しむ】	・菜園　・リンゴ狩り　・カモ等の野鳥観察　・魚釣り ・四季を感じながらウォーキングやサイクリング　・花見 ・水生植物を植える
【くつろぐ・遊ぶ】	・犬等と遊ぶ（ドックラン）　・親子でくつろぐ ・カフェテリアでくつろぐ　・花火　・遠足 ・トロッコ列車　・ジップラインで池を渡る

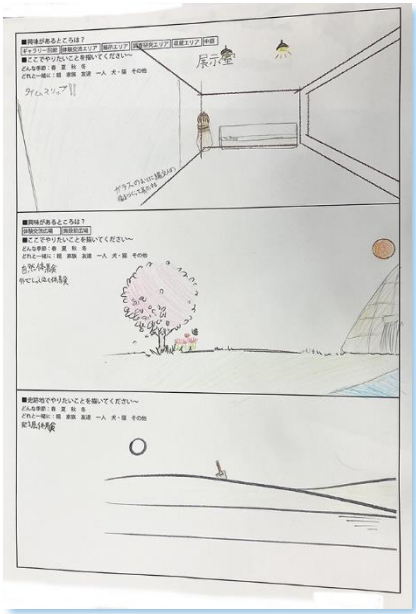
【皆さんのアイディア】


カメラ
縄文食を料理する
ドングリをもらっておいしくたべる
ジップライン
魚を釣る
ウナギをつる
水生植物を植える
キャンプ

かも

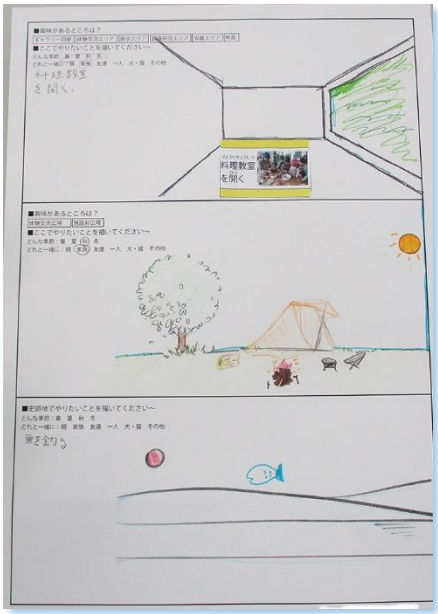
縄文BBQを行う
キャンプ
花火大会をする
シャワー
ウォーキングする

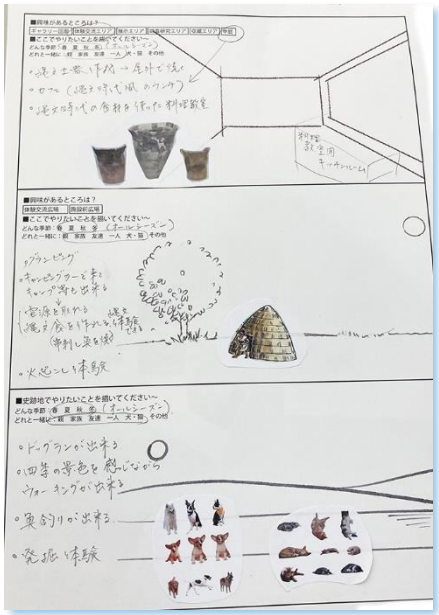

ベンチ
ツリー
親子で
くつろぐ
犬なども遊ぶ
花火を見る
サイクリング
ジップラインで池を渡る


展示室
自然体験
釣り体験

つみき(土器)
おりがみ
縄文料理教室
トロッコ列車
菜園(じゃがいも)
つり
水辺館

パネル
桜


料理教室を開く
魚を釣る


キャンプ
ウォーキングが出来る
異釣りが出来る
発掘体験

第2回ワークショップ【午後の部】の様子

「東名遺跡と複合施設の活用を考えよう」

＜午後の部 プログラム＞

○他遺跡の整備や活用事例の紹介

《他遺跡の整備状況や活用方法の事例を紹介》

○史跡地と複合施設の活用方法について考える

《活用のアイディアをグループごとに話し合う》

■お集まり頂いた参加者

普段から東名遺跡周辺において活動されている、グランドゴルフ・ウォーキング等のスポーツ活動の団体３名、花づくり・緑地管理、野鳥観察等の環境まちづくり活動をされている方２名、巨勢川調整池の活用活動をされている団体９名、まちづくりをされている団体２名、高齢者支援活動をされている団体２名、東名遺跡に興味を持つ一般市民３名、計２１名が参加されました。

■第１回ワークショップの振り返りと他遺跡の整備や活用事例の紹介について

第１回ワークショップに欠席された参加者もいたため、複合施設の整備方針、東名遺跡出土品の展示方針、史跡地の活用方針について、振り返りを行いました。また、全国の縄文遺跡における整備活用事例について紹介し、先進的な遺跡では、展示解説に止まらず、様々な体験活動が行われ、それを支える市民活動組織等の取り組みが活発に行われていることを紹介しました。

■東名遺跡の望ましい活用について

活用事例の紹介のあと、５つのグループに分かれて話し合っていきました。東名遺跡とガイダンス施設の望ましい活用（理想的な姿・利用方法等）について、下記のようなキーワードに整理されるアイディアが考え出されました。

周辺の地域と連携しながら、縄文の歴史資源を活かした憩い・交流・体験学習等様々な活動を行うことができる、縄文の自然資源を活かしながら、地元と連携するイベントを行うことができるアイディアが出されました。

＜東名遺跡（史跡地）の望ましい活用について＞

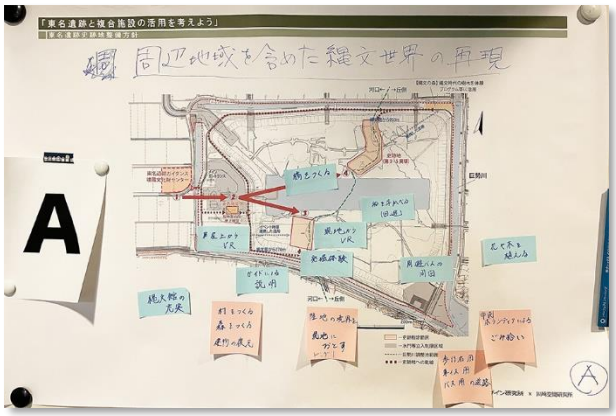
各グループ　スローガン	望ましい活用について（キーワード）
東名遺跡（史跡地） 『周辺地域を含めた縄文世界の再現』 『縄文遺跡の景色と周囲の景観』 『健康になる遺跡』 『遺跡と地域を周遊できるルートを』 『自然と歴史の共存』	【縄 文 館】・屋上から展望（ＶＲ）　・サッカー ・グラウンドゴルフ 【史 跡 地】・発掘体験　・ムラ、森の復元　・火起こし体験 ・縄文 BBQ 【調 整 池】・船で回遊　・野鳥観察　・池を横断（橋等） ・花や木を植える　・ゴミ拾い　・史跡ガイド ・四季それぞれの花や草（水生植物）　・トイレ ・ベンチ　・東屋　・水飲み場　・休憩スペース ・カゴづくり用の材料を栽培　・遊具 【外周道路】・周遊バス　・ウォーキング　・ジョギング ・歩行者用、車いす用、バス用の道路整備 ・サイクリング 【イベント】・ハンググライダー　・凧あげ　・薬草散策 ・植物観察　・スケッチ教室　・マラソン大会 ・花火　・縄文ファッションショー

＜東名遺跡ガイダンス・埋蔵文化財センターの望ましい活用について＞

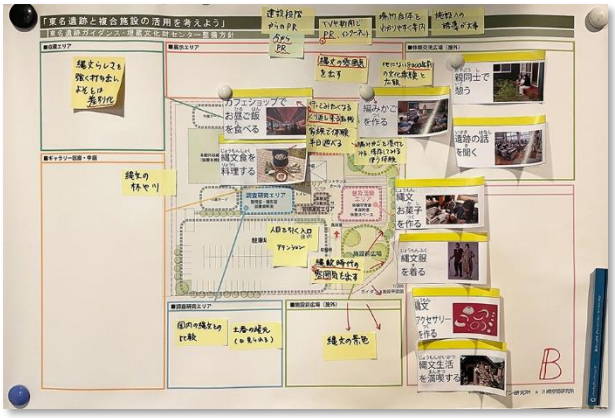
各グループ　スローガン	望ましい活用について（キーワード）
東名ガイダンス・埋文センター 『大人もこどももわくわく縄文体験』 『縄文らしさを強く打ち出す』 『縄文にタイムトリップできる場所』 『縄文の自然を満喫し、体験する』 『イベント盛りだくさんの施設』	**【全　体】**・バリアフリー対応　・ボランティアガイド **【ギャラリー回廊・中庭】** ・写真展　・自由コーナー（短歌・俳句）　・収蔵庫を見せる **【施設前広場】** ・縄文踊り　・キッチンカー　・縄文の景色 ・入りやすさを重視 **【体験交流広場】** ・火起こし体験　・縄文 BBQ　・編みカゴづくり **【普及活動エリア】** ・カフェショップ　・屋上でくつろぐ ・縄文をテーマにした映画づくり　・ものづくり等縄文体験 **【展示エリア】**・わくわくする仕掛け **【駐車場】**・臨時駐車場　・車で見る映画 **【Ｐ　Ｒ】**・施設の誘導をわかりやすく　・建設中から PR を

【各班の検討結果】

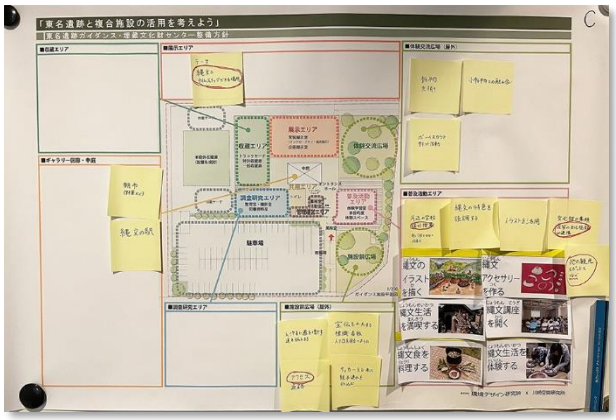
A班



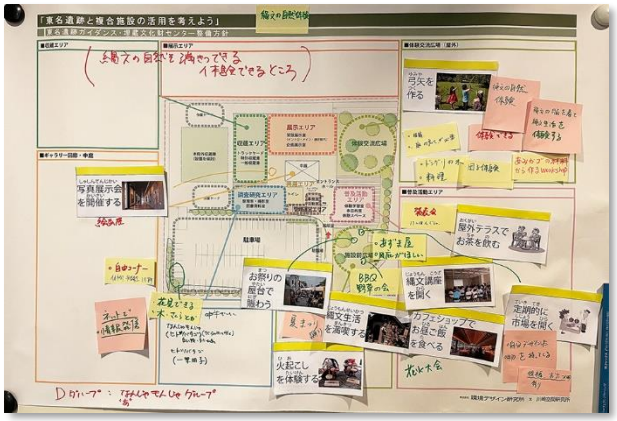
B班

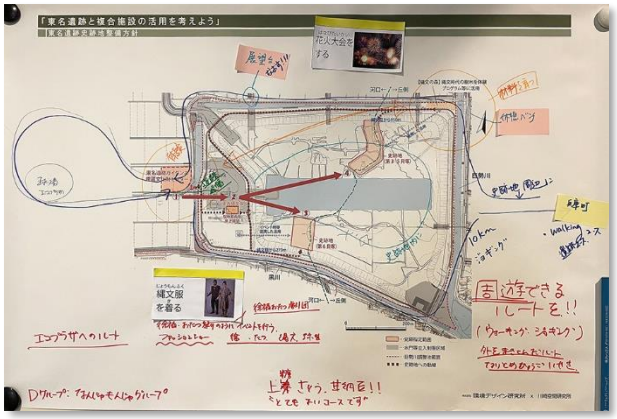


C班

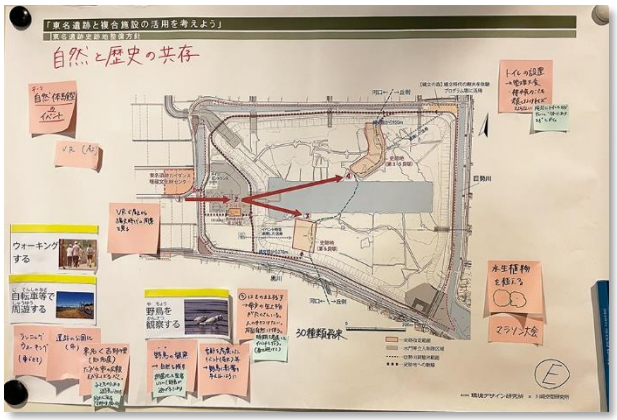


D班





E班



おわりに

全２回のワークショップを通じ、参加者していただいた皆さんの東名遺跡に対する熱い思いや、今後の望ましい史跡の整備と活用に向けての様々な考え方やアイディアについて、一緒に話し合うことができました。

佐賀市では、今回いただいた考え方やアイディアを参考にしながら、技術的な実現性や運営面での検討を重ね、これからの史跡整備に活かしていきたいと考えています。

また、整備事業を進めて行くにあたり、今後も今回のようなワークショップ等で、市民の皆さんの意見や考えをお聞きする機会を設けていきたいと考えていますので、今後ともご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

発行・お問合せ

佐賀市 地域振興部 文化財課 史跡整備係（担当：西田）

〒840-0811　佐賀市大財三丁目 11 番 21 号　　TEL：0952-40-7109　FAX：0952-26-7378